

『生涯学習賞』受賞者一覧表

賞 名		第1回(H13)	第2回(H14)	第3回(H15)	第4回(H16)	第5回(H17)	第6回(H18)	第7回(H19)	第8回(H20)	第9回(H21)
生涯学習大賞 (石田梅岩賞)	受賞者	エットーレ・ジェルピ (フランス)		日野原重明 (東京都)		千玄室・(故)千登三 子(京都府)		フランソワ・マセ (フランス)		赤松 良子 (東京都)
	概 要	長年にわたりユネスコ生涯教育部門の責任者として、「自己決定学習」という新たな概念を提起し、国際的に生涯教育の普及に努められた。		新たな高齢者像や長寿社会づくりに向けて様々な「生き方」を提起し、高齢化社会の生涯学習振興に大きく貢献された。		広く世界各国において、日本の心を今日に伝える茶道の普及に努められ、伝統文化の継承と発展に大きく貢献された。		日本の古典や文化、思想への造詣が深く、石田梅岩などに関する研究を行うとともに、生涯学習・国際交流等の発展に貢献された。		生涯学習活動や男女雇用機会の均等を含む女性の地位向上に貢献した。
生涯学習 ゆう・あい賞 (千登三子賞) 第6回(平成 18年度)から 新設	受賞者							福田 雅子 (大阪市)		イーデス・ハンソン (和歌山県)
	概 要							部落問題、女性の人権問題を中心に活躍されるなど、男女共同参画社会の実現のために着実な研究と調査を実施された。		世界の子どもたちへの教育支援活動や、人権問題を視点に、新しい時代の女性の生き方を提案するなど、男女共同参画社会の実現された。
生涯学習 奨励賞	受賞者	NPO法人全国生涯学習 まちづくり協会 (千葉県松戸市)	寄ろ会みなまた (熊本県水俣市)	齋藤 吉子 (亀岡市)	都城とさめき大学 (宮崎県都城市)	NPO法人東京雑学大学 (東京都)		浦添市てだこ学園大 学院(沖縄県)	京都シニア大学 (京都市)	
	概 要	地域アニメーター等の養成や、市町村の生涯学習まちづくり事業への支援など、広範な事業を展開された。	地域の価値あるものを発見し、それを認めることで、地域への誇りと愛情を沸き立たせようと諸活動を継続的に行っている。	盲目という逆境のなかで、特に箏曲の研究と普及に全力を傾け、邦楽文化の発展に大きく寄与された。	地域の学習財産を生かし、熱意ある自主活動で学習ステージを創出し、生涯学習の推進に大きく貢献された。	ボランティアという手づくりの組織で、自由参加型の市民大学を運営され、他の市町村にも多大な影響を与えられた。		地域社会の活性化と、高齢者の育成を目指して学習活動を展開され、他市町村の老人大学等にも多大な影響を与えた。	高齢者の方々が、自己の研鑽に励むよう講座を自主的に学生が運営している。この生涯学習の実践が評価されている。	
生涯学習 奨励賞	受賞者		亀岡市吹奏楽団 (亀岡市)	亀岡生涯学習 市民大学運営委員会 (亀岡市)	亀岡子どもの本研究会 (亀岡市)	佐伯灯籠保存会 (亀岡市)		亀岡油絵懇話会 (亀岡市)	亀岡市文化資料館 友の会(亀岡市)	亀岡市食生活改善 推進員協議会 (亀岡市)
	概 要		吹奏楽を通じ青少年への指導や、地域文化活動の中心として活躍できる人材の育成に貢献された。	長年にわたり市民大学の企画・運営を参加者主体で取組み、市民の生涯学習推進の中心的役割を演じてきた。	長きにわたる子どもたちへの読み聞かせをはじめ、大型紙芝居の取組みなど、地域学習活動の向上に貢献された。	文化体験プログラム事業の実施や様々なフェスティバル等に参加し、地域に誇る伝統芸能、文化遺産の保存継承に貢献された。		本市はもちろん、東京、京都美術館、ニューヨーク展等にも出品し、生涯学習の輪を広げ、市民文化の向上に貢献された。	亀岡の歴史・文化について、20年間という長きにわたる調査・研究をされている。	昭和40年から市民の食生活の改善と食育の普及・啓発活動を行っている。
生涯学習 奨励賞	受賞者		花と緑の会 (亀岡市)		亀岡祭山鉦連合会 (亀岡市)					心学明誠舎(大阪市)
	概 要		緑花ボランティアを育成するとともに、花と緑の創出や管理に取組み、着実な緑花の推進に貢献された。		町衆の熱意を結集し、地域をあげて山鉦行事の保存・継承と発展への取組みを实践され、生涯学習推進に大きく貢献された。					石田梅岩翁の門下達で、全国に広めた心学講舎のひとつとして、生涯学習の発展に寄与している。

『生涯学習賞』受賞者一覧表

賞 名		第10回(H22)	第11回(H23)	第12回(H24)	第13回(H25)	第14回(H26)	第15回(H27)	第16回(H28)	第17回(H29)	第18回(H30)
生涯学習大賞 (石田梅岩賞)	受賞者		佐渡 裕 (兵庫県)		大谷 實 (京都府)		あしなが育英会 (東京都)		山折 哲雄 (京都府)	
	概 要		広く多くの方にクラシック音楽の魅力を伝えるとともに、音楽教育に力を注いでいる。		犯罪被害者とその家族の人権擁護に理論面のみならず実践面でも永年にわたり精力的に取り組んでいる。		長年にわたり遺児の支援に取り組み、多くの遺児の自立に大きく貢献、また日本のみならず国際的な取り組みを展開している。		宗教・思想の深層に切り込む意欲的な研究を行い、その普及のための著述・講演活動などに取り組んでいる。	
生涯学習 ゆう・あい賞 (千 登三子賞)	受賞者	樋口 恵子 (東京都)		神田 道子 (東京都)		坂東 眞理子 (東京都)		本田 優子 (北海道)		浅岡 美恵 (京都市)
	概 要	女性問題、福祉、教育の分野で幅広く評論活動を行い、女性の地位向上に貢献した。		女性や男女平等に関わる問題についての実証的研究に長年取り組み、女性の地位向上に努められた。		国等における男女共同参画行政に関わり、また、大学での活動を通じ、女性の教育と地位の向上に貢献した。		アイヌ民族の言語・文化の研究と保護に務められ、またアイヌ民族の学生に対する支援体制を構築された。		環境問題、男女共同参画社会の分野で活躍。特にNPO気候ネットワーク代表として、環境問題に関する学習の機会を人々に提供。
生涯学習 共生賞 (上田正昭賞) 第10回(平成22年度)から 新設	受賞者	NPO法人亀岡人と自然のネットワーク (亀岡市)	中川 重年 (亀岡市)	てるはの森の会 (宮崎市)	NPO法人プロジェクト保津川 (亀岡市)	亀岡市保津地域 アユモドキ保全協議会 (亀岡市)			NPO法人 八幡たけくらぶ (京都府八幡市)	みずのき美術館 (亀岡市)
	概 要	亀岡の人や自然に関わる文化、歴史、地誌、生態、環境など、あらゆる分野に携わり、より良い自然環境の保全を実践している。	亀岡の里山環境の質を高めるだけでなく、地域と連携し農商業振興に関わる活動を主宰している。	照葉樹林の保全及び復元を多様な組織・団体との協働により多彩な活動で実践しており、今後も継続と発展が期待されている。	保津川流域において、環境保全活動に取り組むのみならず、広く河川文化の再生、創造に取り組んでいる。	国の天然記念物アユモドキの保護に、地元自治会や各種団体などが協力し、地域一体となって取り組んでいる。			放置竹林の整備による、竹と樹木の他共生のための活動に取り組む、自然との共生を目指した学習活動を長年にわたり実践している。	アートを通じて障がい者をはじめ地域の人々の「共生社会」のモデルを実践する活動をしている。
生涯学習 奨励賞	受賞者	NPO法人田舎スイーツ倶楽部 (青森市)	秋津野塾 (和歌山県田辺市)	長澤 ちか子 (亀岡市)	ますみ会 (福井県大野市)	いしがき青少年少女合唱団 (沖縄県石垣市)	丹波／亀岡 ききょうの里を作る会 (亀岡市)	生涯学習ボランティア サークルふるさと 亀岡ガイドの会(亀岡市)	吉中 康子 (亀岡市)	ナルク亀岡 (亀岡市)
	概 要	地産地消、食育、伝統の味と技、新しい食の文化、家庭や地域に対する誇りや愛情等を発信することにより、地域の活性化を目指している。	地域住民が自ら参加し、自分たちが住む地域を作り上げていく先進的な取組みを実施し、地域の活性化に貢献している。	生涯学習の一環として大正琴の普及、指導者の育成に長年取り組んでおり、亀岡の文化向上に貢献された。	生涯学習講座への指導者派遣など、全国と同種活動のモデルとなる活動を継続して実施している。	離島という地理的なハードを克服し、長年にわたり合唱を通した青少年の健全育成に努めている。	地域住民が主体となり、ききょうの里を活かした地域の活性化、賑わいづくりに取り組んでいる。	亀岡を愛する心を育むとともに、亀岡のPRや地域の活性化に寄与する活動を設立以来16年の永きにわたり実施している。	体操・健康・レクリエーション分野を中心とした数多くの活動を長年にわたり実践し、地域の活性化、イメージアップに貢献された。	地域の中高齢者が自己研鑽を通じて相互に助け合う様々な事業を活発にきめ細かく展開してきた。
生涯学習 奨励賞	受賞者						夢コスモス園プロジェクト実行委員会 (亀岡市)			
	概 要						地域住民が主体となり、コスモス園を中心とした地域の活性化、賑わいづくりに努めている。			

『生涯学習賞』受賞者一覧表

賞 名		第19回(R1)	第20回(R2)	第21回(R3)	(R4)	第22回(R5)	第23回(R6)			
生涯学習大賞 (石田梅岩賞)	受賞者	松浦晃一郎 (東京都)		一般社団法人 沖縄県 婦人連合会(沖縄県)	中止 (新型コロナウイルス 感染拡大防止のため)		熊倉 功夫 (京都市)			
	概 要	ユネスコ事務局長として世界文化遺産の顕彰に努め、生涯学習推進に関わる事業を積極的に進めた。		戦後の沖縄の困難を乗り越えるため女性の力が必要と有志により活動が始まり、福祉・女性・健康・くらし・平和といった多岐にわたる問題に対する活動を長年続けてこられた。			長年にわたり茶道を中心として、能・狂言・歌舞伎、また華道・香道など日本文化史の研究にあたり、その成果の普及に長年努められてこられた。			
生涯学習 ゆう・あい賞 (千 登三子賞)	受賞者		富士谷あつ子 (京都市)			田端 泰子 (京都市)				
	概 要		男女共同参画社会を謳い、女性学やジェンダー学の草分け的存在として活動を続けてこられ、現在もその活動を持続発展させている。			日本女性史研究の第一人者、中世の女性が果たした役割や地位の解明に取り組まれ、生涯学習や男女共同参画社会の実現に向けての普及・啓発を図っている。				
生涯学習 共生賞 (上田正昭賞) 第10回(平成 22年度)から 新設	受賞者	中道高志 (亀岡市)	豊田知八 (亀岡市)	Office Com Junto (オフィス・コン・ジュント) (亀岡市)		木城えほんの郷 (宮崎県木城町)	特定非営利活動法人 京都土の塾 (京都市)			
	概 要	応募作品の保護、保存にとどまらず、無料一般公開や理解促進、複製画の作成など、30年以上にわたりその画業の顕彰活動に努めてきた。	保津川に係る研究を行い、講演や授業、メディアでの発信をするなど、川の保全活動にとどまらず亀岡の人づくりと地域づくりに貢献している。	外国にルーツをもつ市民も対象にした学習支援や多言語での絵本の制作、文化の違いについて語り合う交流の場の提供など、多文化共生につながる活動を続けられている。		世界の絵本原画や絵本が数多く蔵書し、自然を五感で感じながら、原画展の鑑賞、絵本の読み聞かせや狂言会など、自然・生活・文化体験ができ自然との共生をめざす活動をされている。	京都市西京区の大原野石作の荒廃農林地の開墾・整備が始まりで、土に向き合い耕すことを通じ、現代社会の中で本来の力を失ってきた自身の生命力を蘇らせようと、活動が行われている。			
生涯学習 奨励賞	受賞者	NPO法人アントレプレナーシップ開発センター (京都市)	NPO法人亀岡子育てネットワーク (亀岡市)	石川 久 (亀岡市)		特定非営利活動法人 中川小十郎顕彰会 (亀岡市)	黒川 孝宏 (京都市)			
	概 要	社会課題に対して、起業という形で持続的に取り組むという選択肢があることを発信するべく、学校教育等を通じた多様な活動を行っている。	子育てをする人に「学びの場」を提供することで社会との繋がりを強めながら子育てを行うというユニークかつ地域に根差した活動を行っている。	市民向けの歌唱指導やサークル活動の主宰をしており、長きに渡る地域に根ざした音楽文化の向上に寄与する活動を行っている。		立命館大学創設者である中川小十郎の功績を顕彰し、講演会や生誕地をはじめ、ゆかりの地で見学会を開催するなど、地域の活性化や地域に根差した生涯学習活動を行っている。	亀岡生涯学習市民大学の学長として、故上田正昭学長の生涯学習への思いを引継ぎ発展させており、地域に根差した生涯学習活動を行っている。			